

SaiWai

6月号

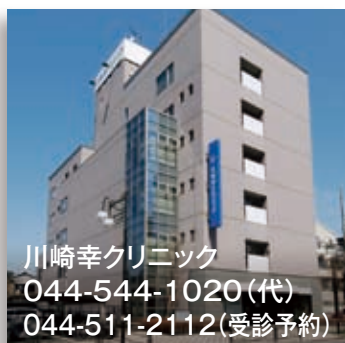
vol.14

June 10, 2012

6月1日
新・川崎幸病院が
開院いたしました



川崎幸病院
044-544-4611(代)



川崎幸クリニック
044-544-1020(代)
044-511-2112(受診予約)



さいわい鹿島田クリニック
044-556-2720(代)
044-556-2722(受診予約)

ご自由に
お持ちください。

新・川崎幸病院が実現する高度先進医療 第3回 **1~4**
『大動脈センター』

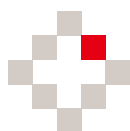
新病院の大動脈センターはここが変わる・・・ **3**
大動脈センター看護部 **4**

内覧会レポート **5**
5月13日・20日に開催された内覧会の様子です

シャトルバス運行のお知らせ **6**
川崎幸病院・川崎幸クリニックへのアクセスが便利に

栄養科便り **6**
『透析患者さんへの栄養管理』

『新・川崎幸病院開院しました』



21世紀型医療・福祉ネットワーク

石心会グループ

～石心会グループの理念～

- ・ 医学的根拠に基づく高度な医療
- ・ 患者さん主体の医療
- ・ 地域に密着した医療

新・川崎幸病院が6月1日に新築移転オープンいたしました。
新病院開院という新しい施設を手にしたシリーズ企画として、
地域で最高水準の医療を目指す、新病院の「高度先進医療センター」を
毎月ご紹介してまいります。

ここが
変わる！

新病院の
大動脈センターは

第3回



大動脈センター

センター長から
皆様へ

川崎幸病院 副院長
大動脈センター長

山本 晋 医師



国内唯一の大動脈治療専門施設 としての自信と責任

川崎幸病院大動脈センターは日本で初めての、また
唯一の大動脈専門施設として、開設以来、一貫し
て大動脈疾患に特化した診療を行っています。また、
手術症例数においても国内最多の実績を誇ります。

24時間365日すべての 大動脈疾患患者さんを受け入れます

当院大動脈センターでは、通常の大動脈疾患患者
さんとはとり、超高齢者やいわゆるハイリスクといわ
れている患者さんに対しても、積極的な手術治療・ス

テントグラフト治療を行っています。様々な理由により
他院で治療を行えなかった、あるいは断られた患者さん
が多いのも当院の特徴です。

大動脈センターの設備を 拡充しました

新病院の大動脈センターは7階専用フロアに専用病棟
(ICU8床・HUC8床を含む)と、4階手術フロアに大動
脈センター専用手術室2室とハイブリッド手術室1室で、
24時間365日、大動脈疾患の診療に対応しています。

受け入れ可能手術件数はこれまでの約3倍となり、
手術待ち期間の大幅な短縮が可能となりました。

川崎幸病院 大動脈センター 開設の経緯



川崎幸病院大動脈センターは2003年7月に川崎幸病院に開設しました。
それまで日本には大動脈疾患を専門に治療する施設はありませんでした。
従って大動脈疾患は、ごく一部の大学病院などにおいてのみ、有効な手術
治療が可能でした。そのような中で、大動脈疾患治療の専門施設の必要性
は循環器医師の間でも認識されるようになり、当時世界一の動脈手術件
数を誇るアメリカ・ベイラー大学での研修から帰国した山本 晋医師（現・大
動脈センター長）を中心とする有志により、日本で初めての大動脈疾患専
門施設・川崎幸病院大動脈センターがスタートしました。



大動脈センターが 治療する主な大動脈疾患



大動脈瘤

●大動脈瘤とは

大動脈瘤とは全身に血液を送る大動脈という大きい血管の一部が瘤（こぶ）のように膨らんでしまう病気です。

●瘤が破裂すると

この瘤は小さいうちは危険が少ないですが、徐々に膨らんで大きくなり、一般的に直径が50～60mm以上になると瘤が破裂する危険性が高くなります。瘤が破裂すると症状は重症で、激しい痛み、呼吸苦、意識障害などを起こし、突然死することもあります。

●大動脈瘤の原因は

大動脈瘤は「動脈硬化」が原因となる場合が多いと言われています。

動脈硬化を促進する原因：喫煙、高血圧、糖尿病、高コレステロール血症など



大動脈解離
(解離性大動脈瘤)

●大動脈解離とは

大動脈解離とは、大動脈の血管の壁が裂けてしまう病気です。血管の壁の内側の膜に亀裂ができ、内側と外側の膜の間に血液が流れ込んだ結果、血管を2重構造にしてしまうのです。

●大動脈解離が起こると

大動脈は心臓から始まり、全ての臓器に血液を供給しており、大動脈に解離が起こると、いずれ臓器に血液が流れなくなり、臓器の血流障害(虚血)がおこります。

●血流障害による重篤な合併症

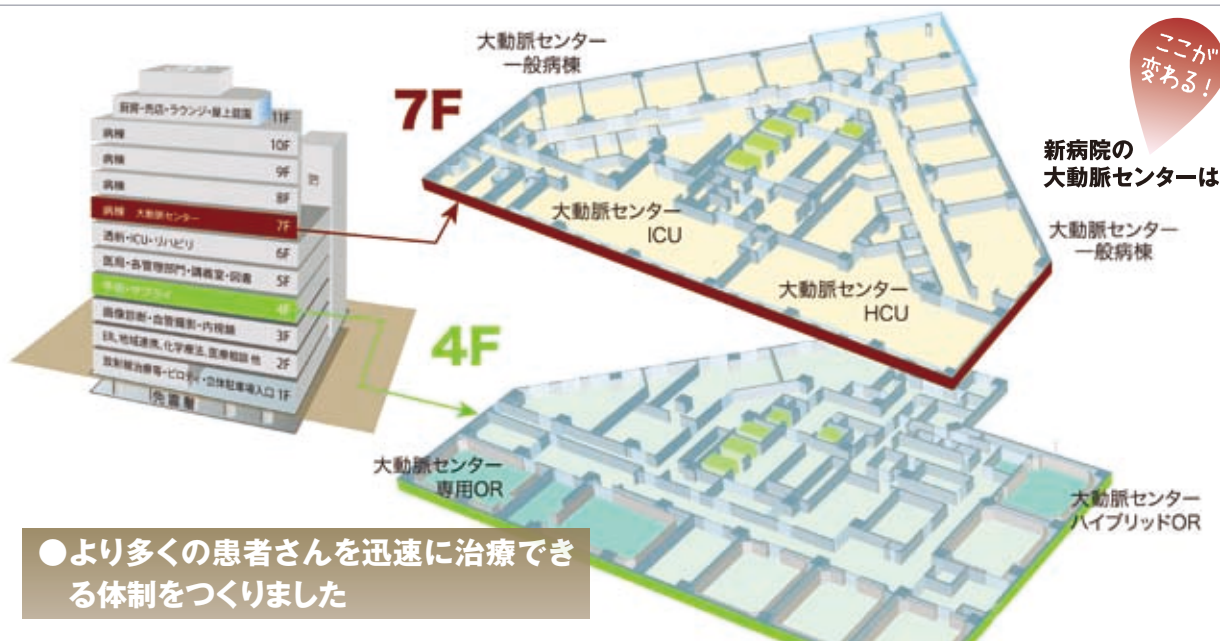
血流障害のおこる場所によって、例えば、心臓の虚血は心筋梗塞、脳の虚血は脳梗塞、腎臓の虚血は腎不全、腸管の虚血は腸管壊死、など重篤な合併症を引き起こし、高い確立で死に至ります。

新病院の大動脈センターはここが変わる

●次世代の大動脈治療専門施設を目指して

これからの川崎幸病院大動脈センターは次世代の大動脈センターを目指しています。6月1日の新病院開院により、大動脈センターはより充実した設備を備えるセンターになりました。このセンターを基盤に、

さらなる手術成績の向上と国内でのオピニオンリーダーを目指す一方で、海外との連携を強化し、特にアジア諸国への技術供与を推し進めて行きます。また、大動脈センターから独立した大動脈疾患研究施設の設立準備を開始し、研究面においても将来の日本をリードしていく施設を目指しています。



●より多くの患者さんを迅速に治療できる体制をつくりました

当院大動脈センターでの治療をご希望される患者さんは非常に多く、新病院では、大動脈センターの設備を大幅拡充し、より多くの患者さんを、迅速に治療できるような体制をつくりました。

手術室の拡充

大動脈センター専用の手術室2室とハイブリッド手術室1室を設けました。これにより、受け入れ可能手術件数はこれまでの3倍となり、患者さんに手術をお待ちいただく期間の大幅な短縮が可能になりました。

集中治療設備の拡充

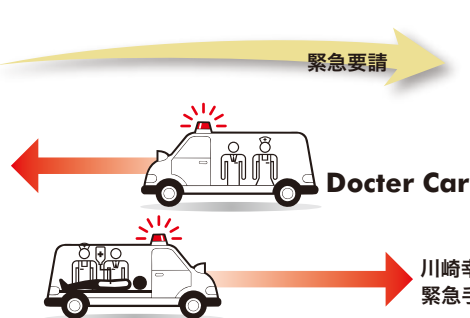
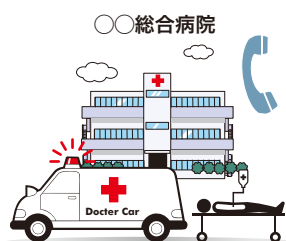
7階専用フロアに、ICU8ベッドとHCU8ベッドを設けました。こちらでは、大動脈手術後の患者さんを集中的に治療しており、手術後の患者さんが一日も早く退院できるように24時間体制で管理していきます。

大動脈センター専用リハビリテーション室

7階には大動脈センター専用のリハビリテーション室を設けております。専門のリハビリスタッフが手術の翌日から集中治療室でリハビリを始め、患者さんが早期回復できるようお手伝い致します。

●24時間対応のドクターカーの運用を開始します

緊急手術を要する急性大動脈疾患患者さんの受け入れについては、大動脈センター・ドクターカーの運用を開始し対応いたします（24時間365日）。大動脈センター・ドクターカーは大動脈センター医師が同乗し、紹介元病院から川崎幸病院大動脈センターまで搬送を行います。これまでのように紹介元病院の先生方が患者搬送のために救急車に同乗する必要がなくなりました。



ドクターカー運用フロー図



大動脈センター看護部

大動脈センター看護科長

田中 亜由美 看護師



ここが
変わる！

新病院の
大動脈センターは

●集中治療設備を拡充しました

新病院の大動脈センターはICU（集中治療室）8ベッドとHCU（準集中治療室）8ベッドを備えています。大動脈疾患の手術は大手術です。手術後、患者さんが早期回復できるように、私たち専門の看護師が24時間体制で集中的に看護をしています。集中治療設備の拡充にあわせて、私たち看護師も看護の質をより高めていきたいと考えております。

●手術室との連携を強化します

当センターでの治療をご希望される患者さんは非常に多く、今までは手術に3ヶ月ほどお待ちいただいている状態でした。そこで、新病院では大動脈センター専用の手術室を増やし、従来の約3倍の手術の実施が可能な体制にしました。また、ドクターカーの運用を開始することで、緊急手術の数も増えていくと思います。手術室スタッフとの情報共有・連携を一層強化し、増えていく手術数にしっかり対応していきたいと思います。

●患者さんの早期回復のために

手術後の患者さんの身体機能の早期回復のために、手術翌日からリハビリを始めることが大切です。新病院ではリハビリテーション室を集中治療室の隣に設けました。リハ室が隣にあることで、患者さんの移動もスムーズになりますし、私たち看護師の目の届くところで安全で効率の良いリハビリを行うことができます。専門のリハビリスタッフと協力して患者さんの早期回復のお手伝いをしていきたいと思います。



●退院までサポート

大動脈疾患の治療は手術後の管理も大変重要です。大動脈手術は胸を大きく切る大手術ですので、手術後の感染症などの合併症のリスクもあります。手術を成功させるのは当然ですが、患者さんが大きな合併症もなく早期退院されるように、また退院後の生活も視野に入れながら看護をしていきたいと思っています。

●これからも一流の看護を目指します

大動脈手術は大手術であり、リスクも低くない手術です。当院大動脈センターは国内最多の治療実績を持っており、専門の医師も一流の医療を提供しておりますが、患者さんが合併症もなく早期に退院されるためには、「医師の治療」と「私たちの看護」がうまくマッチングすることが必要です。私たち看護師も「一流の看護」を目指して、看護知識・スキルを向上させていきます。

●皆様へ

大動脈疾患はまだ認知度が低い病気です。しかし、大動脈疾患も糖尿病などと同様に生活習慣病の1つです。ご自身も大動脈疾患になる可能性があるということを心に留めていただきたいと願うとともに、地域の方々に、大動脈疾患に関する情報を発信していけるような病院でありたいと思います。



★ KAWASAKI SAIWAI HOSPITAL ★

新・川崎幸病院 内覧会を開催しました

★ PREVIEW MEETING 2012 ★



5月13日・20日、新・川崎幸病院の内覧会を開催しました。
13日は医療関係者の方々を対象に、20日は一般の方を対象に、両日ともに天候に恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。内覧会の模様をお届けします。

1階ピロティでは、開院記念式典を催し、東京交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団の皆様にご演奏いただきました。20日は神奈川フィルハーモニー管弦楽団の皆様、川崎市出身である坂本九の「上を向いて歩こう」と「見上げてごらん夜空の星を」の2曲を披露していただきました。



5月20日は予想以上に多くの方にご来場いただき、汗ばむ天候の中、来場までお待ちいただくこともありました。誠に申し訳ございませんでした。



来場者数

5月13日	約500人
5月20日	約4500人

新・川崎幸病院は
6月1日に開院しました。
これからもよろしくお願いいたします。

11階ラウンジ、病室、普段は立ち入れない手術室やER（救命救急室）などをご覧頂き、盛況な催しとなりました。





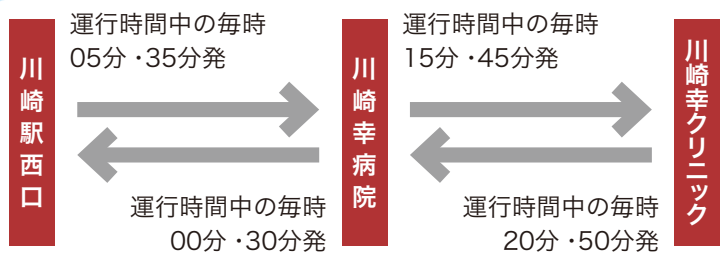
6月1日より 無料シャトルバスの運行を開始しました！

川崎幸病院とJR川崎駅西口、川崎幸病院と川崎幸クリニックを結ぶ
シャトルバスの運行を開始しました。ご利用下さい。

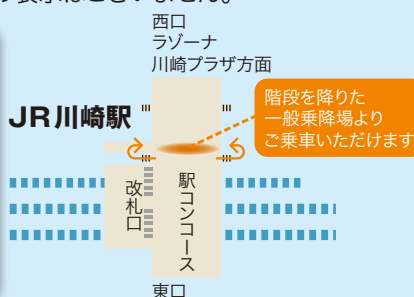
運行時間

月曜日～金曜日	7:00～19:00
土曜日	7:00～12:00

日曜・祝祭日を除く月曜日から土曜日までの毎日、上記時間内で無料シャトルバスを運行致します。



※「川崎幸病院シャトルバス乗り場」等の表示はございません。



特別編

透析患者さんの 栄養管理を していきます



新・川崎幸病院は、透析治療部門を大きく拡充し、
通院での人工透析治療を35ベッドで開始しました。

私たち管理栄養士も、透析食の提供など栄養管理面で透析患者さんのサポートをしていきます。

人工透析とは 腎臓の働きが悪くなった患者さんに行う治療で、患者さんの血液を体外に導き出し、血液を濾過して不要な老廃物を取り除き、血液をきれいにして体内に戻す治療法のことです。

透析食を無料で提供しています 透析食とは、透析患者さんにとって最適な栄養バランスを考えて作る治療食です。川崎幸病院では「食事の提供も治療の一環」との方針により、透析食を無料で提供しています。

● 治療の一環であると同時に生活の一環として

透析食は、治療食であると同時に患者さんにとっては生活の一部です。食事の見た目や満足感も大切にするとともに、患者さん自身の献立作りの参考になるようなメニューを提供していきます。

● 栄養相談 ～日常の食生活にも留意して～

透析治療では、患者さんの日常の食生活にも気を配る必要があります。血液検査などにより、日常生活で患者さんが食べたものがストレートに数値に表れます。そのデータにもとづいて透析治療中にベッドサイドを回りながら、患者さん一人ひとりに合った食事療法を提案していきたいと思えます。

次号は、実際に川崎幸病院で提供している透析食のご紹介をいたします。



9F 脳血管センター・レーザー治療センター・整形外科病棟のフロアです



10F 消化器病センター・外科病棟のフロアです



11F 憩いのスペースにしました



6F 透析部門とICUのフロアです



7F 大動脈センターのフロアです



8F 心臓病センター・内科病棟のフロアです



3F 先端検査機器と内視鏡センターのフロアです



4F 4階はすべて手術フロアです



5F 120名収容の講義室で健康講座を開催予定です

6月1日、新・川崎幸病院が開院いたしました。
先月の内覧会を見逃がされた方々に、簡単ですが各フロアを写真でご紹介させていただきます。



1F 8月から放射線治療を開始します



2F ER型救命救急室を新たに設けました